

平成29年度 活動方針と重点

I メインテーマ

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

II 基本方針

長岡京市老人クラブ連合会は48クラブ、2,300余名会員の高齢者を代表する組織として、社会保障制度改革などの高齢者をめぐる厳しい情勢を踏まえ、一人ひとりの生きがいの充実を基盤に「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を始めとする多彩な活動を推進する。

特に老人クラブ数・会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、引き続き会員増強運動を積極的に推進し、若手高齢者等の加入促進による老人クラブの組織強化と活性化を図る。また、介護保険制度の見直し等、高齢社会の一員として行政や関係機関・団体と連携・協力し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに、単位老人クラブと協働して社会的役割を果たしていくこととする。

III 事業の重点

1. 全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」の活動を引き続き展開することとし、とりわけ「生きがいづくり・健康づくり・仲間づくり・地域づくり」を積極的に推進する。
2. 老人クラブ数・会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、平成26年度から実施している会員増強運動を危機感を持って引き続き推進する。過去3年間の運動の結果は極めて厳しいものがあり、更に工夫を懲らし、純増の加入促進に努め、老人クラブの組織強化と活性化を図る。
3. 老人クラブ会員や一般高齢者を対象に、地域に健康づくりの輪を広げるとともに、老人クラブへの加入促進を図るため、ニュースポーツの普及・カラオケ同好会づくり等により、若手高齢者等の加入促進による老人クラブの組織強化と活性化を推進する。
4. 自治会長会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会等と協同し、老人の強みを生かした地域の子ども・要支援者の見守り活動等に参画するとともに、老人クラブの意義・役割の理解を進め、老人クラブ数・会員数増加へ繋げる。
5. 健康づくり推進員を中心に介護予防リーダーを養成し、老人クラブ会員や一般高齢者を対象に、「いきいきクラブ体操」や「高齢者向け体力測定」の普及に努めるとともに、地域に健康づくり・介護予防の輪を広げ、要介護者・徘徊者の減少に寄与する。
6. 高齢者の孤独死や消費者被害防止が大きな社会問題となっている中、地域における支え合いや人と人とのつながり「絆」の重要性が再認識されていることに鑑み、社会奉仕推進員を中心に、単

位クラブが行う高齢者相互支援・友愛訪問活動などを積極的に支援し、自助・共助(互助)の老人クラブ活動を推進する。

7. 今年度中に介護保険の要支援者（軽度—2段階）に係る「訪問介護」「通所介護」が市町村に移行されることに伴い、市町村の取組を協議する場（関係機関・団体等）が設置される見込みである。老人クラブ活動の交流サロン・声かけ・見守り・安否確認など友愛（支え合い）活動が深く関わることから、市や関係団体と協議・連携を図り老人クラブの参画について検討する。
8. 世代間交流、子育て支援活動や地域（子ども）見守り活動など、安全・安心のまちづくり活動を関係機関・団体と連携・協力して推進するとともに、行政の老人クラブへの理解と協力、そして積極的な支援は市老連の発展に不可欠で有り、今後共役員会他に出席を要請する。
9. 会員増強運動の推進のためマスコミの活用や情報誌「やすらぎ」の充実など、積極的な広報活動を展開するとともに、クラブ活動での安全・安心のため安全基金のPRをする。
10. 単位クラブの解散・休会・退会を防止するため、組織活性部会（ブロック長会議）・会長連絡会議（ブロック会議）で継続的な懇談を進めるとともにサポート体制を築く。

IV 事業の実施について

1. 事業の実施については、月別事業計画に基づき実施する。
2. 事業の重点の具体化については、役員会で充分検討した上で決定し事業を進める。
3. 全老連・府老連の事業には積極的に参加し、行政を始め関係機関・団体と連携・協働して、より一層の充実を図り、魅力ある老人クラブの発展と社会的な役割を果たすために努める。